

---

# 鉄路の旅日記

鉄道人

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ  
テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。  
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者また  
は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ  
ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範  
囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し  
ます。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

鉄路の旅日記

### 【Zマーク】

Z2983P

### 【作者名】

鉄道人

### 【あらすじ】

鉄道好きの中学生が東京を中心に列車に乗って気ままにテツ旅。  
そんな「鉄路の旅」を綴った鉄道旅ストーリー

## プロローグ 夢（前書き）

この作品は、作者が旅したものを小説仕立てにして、多少ドラマを入れたものです。したがつて、全てが「基本」実在しているものです。また、キャラクターも、名前を変えただけで、実在しています。（本人に承諾済）そこを覚えてください。

## プロローグ 夢

彼は、夢を見ていた。

ちょうど4年半ぐらい前・・・ 彼の初めての旅の夢だ。

### 第一幕 日暮里～東京～総武快速線～千葉

詳しい時間は忘れてしまったが、小学3年生の夏。学校のテツ友達2人と千葉に行つたときだ。あれは、旅といつても、遠く 小学生の感覚で遠くに行つて、帰つてくるだけだつた。

JR日暮里駅集合。そこから山手線で東京へ行つた。とにかく、3人とも初めての鉄道旅ということで、興奮していた。もっとも、夢を見ている本人・・・ 彼が一番興奮していたが・・・

総武快速線の東京始発上総一ノ宮行きに乗車した。始発駅から乗車したので、座れるのだが、皆、初めての遠出、総武快速線ということで、先頭車両にかぶりつきになつていた。千葉までの一時間近く・・・ 今考えると、小学三年ということもあるものの、テツパワーに驚かされる・・・ 彼は夢を見ていてそう思つたが・・・ 今の彼のほうが当時より数十倍のテツパワーがある。

錦糸町から地上区間に出て。ここからは、外の景色も見え、中央・総武緩行線も見えるためか、更に興奮していた。

そんな彼らを更に興奮させたのが、総武快速線用のE257系についている、成田空港の地図だった。彼らが住んでいる、足立区、現在の日暮里・舎人ライナー谷在家駅付近の鉄道には、そんなものは付いていなかつたからだ。

### 第一幕 千葉駅

さて、彼らは無事に千葉駅に着いた。もう昼過ぎである。保護者である、3人の内一人・・・ 長井の父のおごりで、その千葉駅改札

外にあるマクドナルドでお昼を食べた。

別に、千葉県に来ているといつても、東京都のマクドナルドとも埼玉県のマクドナルドとも、味は違わない。しかし、「遠出してきた」というため、格別おいしかった。しかし、所詮この距離は、成長すれば、「すぐそこ」になってしまつ。実際、この旅の一ヶ月後・・

・ 小5のとき、スタンプラーで千葉駅に来て、同じ店で同じメニューで昼を食べたとき、東京の店と全く変わらなかつた。

話がそれた。その後、帰りも同じ総武快速じゃつまらないということで、帰りは別のルートをとることにした。

### 第三幕 千葉～内房線～蘇我～京葉線～東京～日暮里

そのルートとは、蘇我に行つてから京葉線で帰るといつものだつた。

千葉～蘇我間は内房線に乗るわけだが、まだ内房線では113系のスカ色が走つてゐる。

東京ではなかなか乗ることのできないこの車両に乗れた事を至福の時とした3人は、やはり、先頭車両にかぶりつきとなつた。

そうすると、あつという間に蘇我に着いた。

ここからは京葉線。小3ということでディズニーランドへ行くため、東京～舞浜は皆乗つたことはあるが、蘇我～東京全線通しで、それも蘇我から行くのは初めてということで、興奮していた。無論、先頭かぶりつきだったのは言うまでも無い。

さて、京葉線で蘇我を出ると、やがて車窓に幕張基地が見えてくる。ここに、205系メルヘン車が止まつていた。あわてて彼は写真を撮つたが、走行中の列車から、離れたところで止まつてゐる車両をとつた結果は・・・ 4年たつた今では、目を背けたくなるような出来だつたそうだ。

東京に着いた。この京葉線ホームは、有楽町駅に近いので、山手線ホームに行くためにはかなり歩く。

10分近く歩き、やつと山手線ホームにたどり着いた。あとは乗り

なれた山手線に乗るだけだ。目新しさも無いが、慣れているためか、落ち着いた乗車が出来た。

「谷在、今日どうだつた？」

長井が彼・・・谷在に聞いた。

「当然、楽しかつたに決まつてゐるだろつ。」

谷在は答えた。

そう。谷在 翼 それこそが、彼の名前だつた。

目が覚めた。 谷在・・・今は中学一年生だつた。 今日は中学校の友達と「150円1都2県大回り」に行く日である。小学校の長井とは別の中学校だ。しかし、お互い、鉄道高校で有名な「岩倉高校」でまた会おうと、卒業式で約束した仲である。

## プロローグ 夢（後書き）

いかがでしたでしょうか？私の初めての作品。実は、この旅行、当初はモノレールに乗るつもりだったのですが、なぜか、いつの間にか千葉に行って帰つてくるだけの旅になりました。これを後日、父に話したら、「千葉までマクドナルド食いに行つたのか」と突っ込まれた思い出もある旅です。今後も、こんな小説をどんどん投稿していきますので、御付き合いください。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2983p/>

---

鉄路の旅日記

2010年12月10日20時41分発行